

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学Ⅱ-A-中枢系		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	普通教室 機能訓練室
担 当 教 員	土居潤平	実務経験と その関連資格	「理学療法士」神経機能解剖学について研究及び神経系理学療法を行っていた。			
《授業科目における学習内容》						
脳血管疾患の理学療法を行う上で必要となる神経科学の基礎と脳機能解剖学を学び、理学療法を実施するために必要な基礎を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席率(10%)、定期試験(90%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
脳卒中理学療法の理論と技術 第3版、配布資料						
《授業外における学習方法》						
講義内容は自分なりにノートにまとめること。						
《履修に当たっての留意点》						
試験(定期試験、小テスト)で不正行為が認められた者は、履修規定第4章16条に従い、当該科目を無効とする。						
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の構造と機能を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 大脳の構造と機能	
		各コマにおける授業予定	大脳皮質機能局在、大脳基底核ループ、小脳回路網			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の構造と機能を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 大脳の構造と機能	
		各コマにおける授業予定	視床、辺縁系、脳幹			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の血管を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 脳の血管	
		各コマにおける授業予定	脳の血管構造			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の血管を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 脳の血管	
		各コマにおける授業予定	脳血流量調整、血液脳関門			
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の分類を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 病型分類	
		各コマにおける授業予定	脳血管障害の病型分類			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の急性期理学療法のリスク管理を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 急性期の病態
		各コマにおける授業予定	急性期の病態とリスク管理		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の回復期理学療法を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 回復期の病態
		各コマにおける授業予定	回復期の病態		
第8回	講義演習形式	各コマにおける授業予定	脳血管障害の維持期理学療法を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 維持期の病態
		各コマにおける授業予定	維持期の病態		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 注意障害
		各コマにおける授業予定	注意障害		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 失行
		各コマにおける授業予定	失行		
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳画像を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 脳画像
		各コマにおける授業予定	形態画像、脳機能画像		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳画像を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 脳画像
		各コマにおける授業予定	病型別の画像所見		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	装具療法について理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 理学療法の実際
		各コマにおける授業予定	脳血管障害の装具療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の可塑性について理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 目標設定と予後予測
		各コマにおける授業予定	回復メカニズム		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 第1-14回の復習(60分)
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	理学療法治療学Ⅱ-A-中枢系		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	普通教室 機能訓練室
担当教員	土居潤平	実務経験とその関連資格	「理学療法士」神経機能解剖学について研究及び神経系理学療法を行っていた。			
《授業科目における学習内容》						
脳血管疾患の理学療法を行う上で必要となる神経科学の基礎と脳機能解剖学を学び、理学療法を実施するために必要な基礎を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席率(10%)、定期試験(90%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
脳卒中理学療法の理論と技術 第3版、配布資料						
《授業外における学習方法》						
講義内容は自分なりにノートにまとめること。						
《履修に当たっての留意点》						
試験(定期試験、小テスト)で不正行為が認められた者は、履修規定第4章16条に従い、当該科目を無効とする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の評価を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 急性期について	
		各コマにおける授業予定	運動機能検査、ADL評価			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の評価を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 急性期について	
		各コマにおける授業予定	運動機能検査			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の評価を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 回復期について	
		各コマにおける授業予定	運動機能検査			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の動作分析を学ぶ	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 回復期について	
		各コマにおける授業予定	基本動作			
第20回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の動作分析を学ぶ	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 生活期について	
		各コマにおける授業予定	歩行			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の介助方法を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 生活期について
		各コマにおける授業予定	基本動作の介助		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の介助方法を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) クリニカルリーズニングにつ いて
		各コマにおける授業予定	移乗介助、歩行介助		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具を用いた理学療法を理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) クリニカルリーズニングにつ いて
		各コマにおける授業予定	KAFO、AFO		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	物理療法を用いた理学療法を学ぶ	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 姿勢・動作観察
		各コマにおける授業予定	電気治療、筋電図		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	ニューロリハビリテーションの概念を学ぶ	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 姿勢・動作観察
		各コマにおける授業予定	ニューロリハビリテーション		
第26回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	クリニカルリーズニングを理解する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 姿勢・動作観察
		各コマにおける授業予定	クリニカルリーズニング		
第27回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	クリニカルリーズニングを実践する	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 姿勢・動作観察
		各コマにおける授業予定	クリニカルリーズニング		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例検討	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) ボバース治療
		各コマにおける授業予定	症例検討		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	症例検討	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 講義の復習する(60分) ボバース治療
		各コマにおける授業予定	症例検討		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例検討	脳卒中理学療法 の理論と技術、配 布資料	事後学習 16回-29回の復習(60分)
		各コマにおける授業予定	症例検討		